

(様式4-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

1. 整備計画													
計画の名称	⑥ 快適な住環境のまちづくり												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度				交付対象	静岡県、焼津市							
計画の目標	地区内では区画整理により道路を含む住環境の整備を進めているが、現状では歩道が未整備となっている道路があり、地域住民が通行する際に歩行者と車両のすれ違いなどに危険が生じる場合がある。このため、車両の往来が多い幅員12m以上の道路について歩道の整備を推進し、自動車や歩行者が安心して通行でき快適に生活できる住環境を創出する。												
計画の成果目標（定量的指標）	幅員12m以上の道路について歩道の整備を行い、整備率を100%にする。												
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考	
									当初現況値	中間目標値	最終目標値		
									(H26当初)	(H 末)	(H30末)		
①	幅員12m以上の道路の歩道整備率：歩道延長/幅員12m以上の道路延長（%） H25末現在：8,218m/9,321m=88% H30末目標：9,722m/9,722m=100%								88%	-	100%		
②													
③													
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,473 百万円	A	4,473 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0%		
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考			
街路、都再区画		会下ノ島石津地区（（都）黒石通り線外)			区画整理 42.3ha			焼津市	1049.1				
事業数		焼津南部地区（（都）黒石通り線外)			区画整理 166.4ha			焼津市	1792.0				
3		会下ノ島石津地区土地区画整理事業			都市再生区画整理 42.3ha			焼津市	1631.9				
2. 事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 ー：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等）） (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、 ●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし	○	3	△	0	ー	0	備考		計画の移行あり	●	0	▲	0
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況													
<ul style="list-style-type: none"> 歩道延長は、目標9,722mに対して実績9,845mとなり計画より123m増加し、道路延長は、目標9,722mに対して実績9,903mとなり計画より181m増加した。 焼津市南部土地区画整理事業は、予定通りに事業が進捗し、計画していた全ての道路の歩道整備が完了した。 会下ノ島石津土地区画整理事業は、計画より歩道延長は123m増加、道路延長は181m増加し、快適に生活できる住環境の向上が図られた。 													
II 定量的指標の達成状況	指標①（幅員12m以上の道路の歩道整備率）	最終目標値	100%		目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業途中の道路整備において、新規の道路と既設道路とを繋げて往来を確保する箇所があり、歩道の一部を取合い道路として使用したことで、未整備の歩道が58m発生し、道路延長と歩道延長に差が生じたため。							
		最終実績値	99.4%										
	指標②（ ）	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
	指標③（ ）	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況													
焼津市南部土地区画整理事業は、計画終了年度の翌年には、区域内全ての道路や公園、防災施設などの公共施設の整備が完了し、安全で快適な魅力ある住環境が創出されたことから、人口の増加に加え、出店店舗数が150を超えるなど街としての成長を続けている。													
4. 今後の方針等													
目標未達成分については引続き社会資本整備総合交付金を活用し、効果的に歩道整備を進め早期の目標達成を目指していく。													

(1) 事業の目的

【景観まちづくり課】

焼津市内の土地区画整理事業区域内では、区画整理の整備により道路を含む住環境の向上に努めている。しかし、現状では歩道が未整備となっている道路があり、地域住民が通行する際に歩行者と車両のすれ違いなどに危険が生じる場合がある。このため、区域内の道路について歩道の整備を推進し、自動車や歩行者が安心して通行し快適に生活できる住環境を創出する。

(2) 指標：焼津市土地区画整理事業区域内のうち、幅員12m以上の道路の歩道整備率向上

土地区画整理事業区域内のうち、幅員12m以上の道路を事業箇所を対象とした。

指標の達成状況

平成30年度末の最終実績値は99.4%であり、目標（100%）を達成しなかった。主な理由は、関係地権者の移転に不測の日時を要したため、一部歩道整備が遅れたためである。しかし、令和元年度には焼津南部地区の公共施設整備も完了し、安全な歩行空間は確実に広がりを見せている。

計画の成果目標	定量的指標			
	H26当初	H30末最終目標	H30末最終実績	H30末達成率
焼津市内の土地区画整理区域内における幅員12m以上の道路のうち、歩道整備率	88.2% (8,218m / 9,321m)	100.0% (9,722m / 9,722m)	99.4% (9,845km / 9,903m)	96.6%

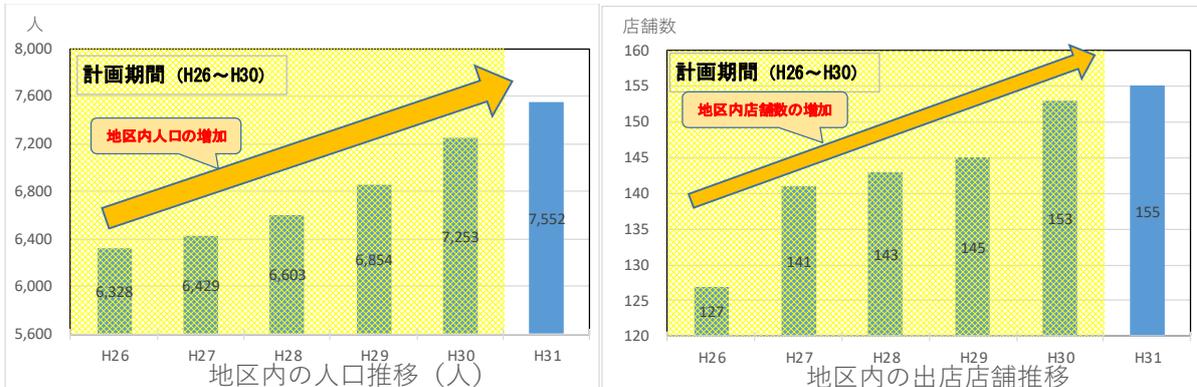
(3) 指標に関連する実施事例 A2 (都) 黒石通り線 (焼津市石津) (歩道整備)



都市計画道路の開通とあわせ歩道を整備し、自転車や歩行者が安心して通行できる住環境を整備

(4) 定量指標以外の効果発現状況

土地区画整理事業区域内の公共施設整備が続々と完了し、安全で快適な魅力ある住環境が創出されたことから、人口及び出店店舗数が増加傾向にあり、街としての成長を続けている。



(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、区域内の公共施設整備を進め、令和5年度の完了を目指す。